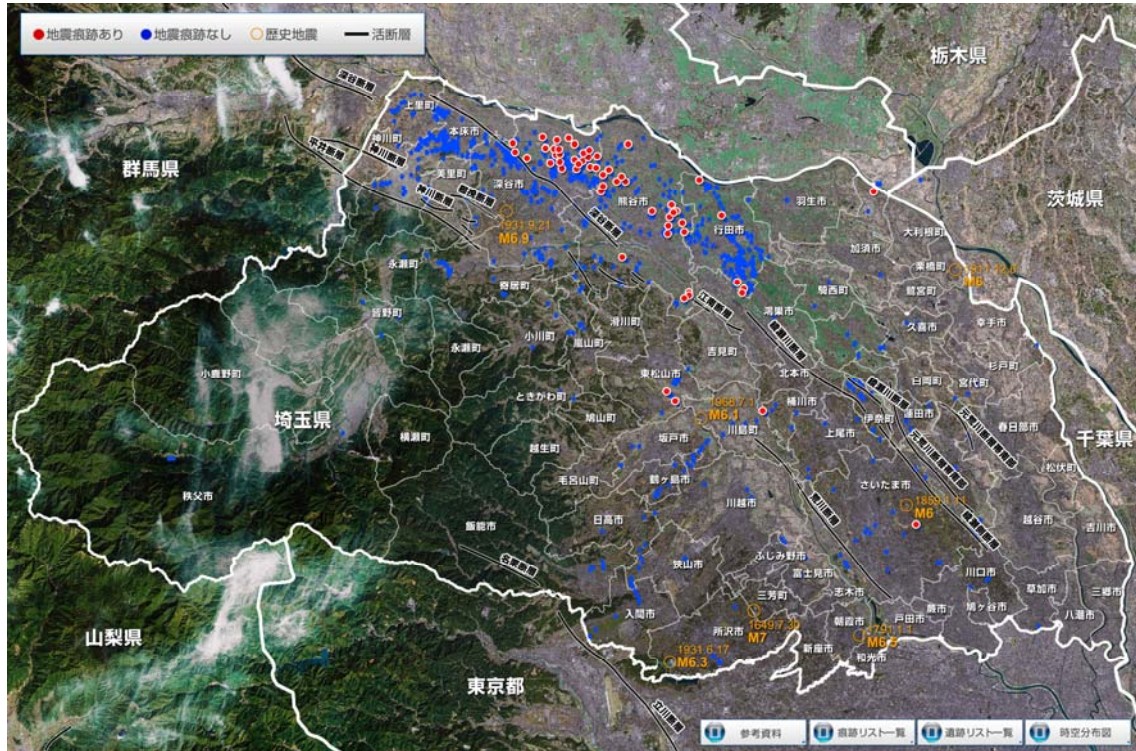


考古遺跡における液状化痕データの収集並びにデータベース化 (3.3.5 参照)



関東地方の考古遺跡の発掘調査報告を調査し、液状化痕などの地震についての記載について検討した。計 3,572 編の考古遺跡の発掘調査報告書を調査し、データベースを作製した。地震の痕跡が認められた遺跡は 167 箇所、ここでは埼玉県为例を示した。地震の痕跡が認められた遺跡（赤丸）は、深谷断層周辺の利根川沿いに分布する。2 層準あり、古いものは 818 年もしくは 878 年に発生した歴史地震に、新期のものは 1931 年の西埼玉地震によるものと推定されている。9 世紀に相当する層準に二層準の液状化等の痕跡が存在するわけではなく、液状化をもしらした地震は、二つの地震のいずれかである。